

JCDかわら版

一般社団法人 日本コンクリート診断士会

2024年度(第15回)定時社員総会報告

(一社)日本コンクリート診断士会 副会長 小野 定

2024年度(第15回)定時社員総会が、2024年5月24日に名古屋市
市の愛知県産業労働センターで開催された。

橋高義典会長の開会挨拶の後、議長に会長が選出された。その後、3つの議案について、各議案毎に説明、審議、および採決が実施された。最初に第1号議案の2023年度事業および収支報告について審議し、承認された。続いて第2号議案理事・監事改選について審議し、承認された。石川裕夏副会長が退任し、後任に高知県コンクリート診断士会会長の原田隆敏氏が副会長に就任された。最後に、第3号議案2024年度事業および収支計画について審議し、承認された。技術部会から、今年度のJCD2024年年次大会は、青森で10月10日(木)に開催されるとの報告があった。また、事務局から、各部会および地区診断士会の連絡調整を図ること、会員名簿の整備、および各部会の活動の支援を充実させるとの報告があった。

議案の審議に引き続き、会員数等報告があった。2024年5月現在におけるJCDに参加している地区診断士会数は16、個人会員数は1486名、法人会員数は77である。その後、各地区コンクリート診断士会の活動報告があった。

総会の最後に、国土交通省中部地方整備局中部道路メンテナンスセンターの山田光希氏による特別講演が行われた。講演内容は、道路メンテナンスを巡る最近の話題である。能登半島地震の被災状況、道路メンテナンスの現状、定期点検要領の改訂、道路の長寿命化に向けた取り組み等、山田光希氏の豊富な経験に基づいた有意義な講演であった。この場をかりて改めて山田光希氏に感謝申し上げます。

活動近況

2024.5.24

理事会・総会開催

2024.6.26～6.28

JCI年次大会参加

2024.10.10

JCD年次発表会 予定

詳しくはHPをご覧ください。

HPが新しくなりました

<https://www.jcd-net.or.jp/>



高知県コンクリート診断士会 ①

高知県コンクリート診断士会の紹介

高知県コンクリート診断士会は2008年に会員19名でスタートし2024年4月現在63名の団体となりました。

職種別では「コンサルタント」「建設」が多く全体の約7割を占め、平均年齢は53.2歳です。

これまで、会員のスキルアップを目的とした「コンクリート技術研修会」を12回開催し、毎回講師には産学官の第一線でご活躍されている方々をお願いして、コンクリートを取り巻く最新の話題や技術をご講義頂きました。参加者は延べ1000名を超えて、当会の重要な行事になっております。

また、当会副会長の濱渦氏が、「ひび割れ抑制に配慮したコンクリートの表層品質向上対策」を実施に反映し、高知県土木部の高い評価を受けました。今年度、実施予定であるJCD主催の「業務体験報告・新技術発表会」にて報告を予定しています。

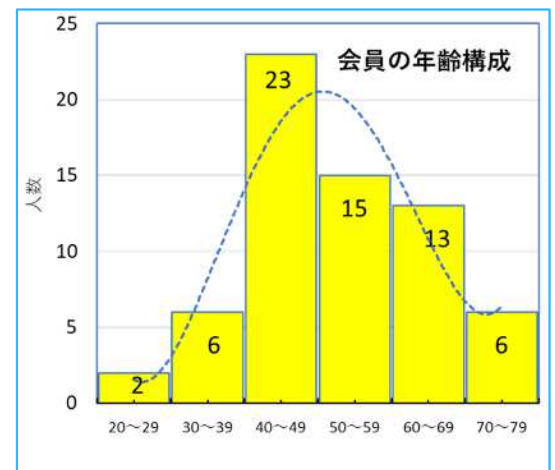
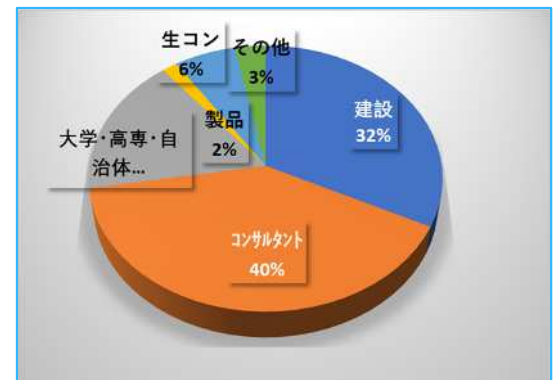
その他、コンクリート診断受験対策講座や現場見学会、講師派遣等を行い、会員拡大やコンクリート技術のブラッシュアップを行っております。

今後とも、技術研修などをおして、会員の技術力向上と会員相互の情報交換や連携を図りながら、高知県の社会インフラ整備、維持管理等に少しでも寄与できる組織となるよう、努めてまいります。

現場見学会の様子 (R5.2.29)



所属別会員割合と年齢構成



活動報告

2023年度活動報告

1.2023年度通常総会・研修会

2023年6月24日(土) 16:00～17:00

参加人数 48名(委任状含む)

JCD橋高会長をお迎えしての特別講演開催(右写真)



橋高JCD会長

2.役員会

7回開催(研修計画や現場見学会等の具体的内容を決定)

3.第12回コンクリート技術研修会

日 時:2023年9月29日(金) 13:00～17:00

会 場:サンピアセリーズ 参加者 :107名(内6名 女性)

講演Ⅰ「検査で気づいたこと」

川上 英二 高知県土木部技術管理課 技査

講演Ⅱ「四国の道路インフラに関する最近の話題」

河原 研治 国土交通省 四国地方整備局土佐国道事務所副所長

講演Ⅲ「コンクリートエの生産性向上に向けてやってきたこととやりたいこと」

橋本 親典 徳島大学大学院 社会基盤デザイン系教授



川上英二 氏



河原研治 氏



橋本親典 教授



研修会場

活動報告

4.コンクリート診断士受験対策/ブラッシュアップ講習会

日 時:6月27日(土) 10:00~16:00 会 場:福留開発(株)ときわホール
講 師:橋本 親典 徳島大学大学院教授
参加人数 18名(会員9名含む)

5.高知県コンクリート診断士会 第2回業務体験発表会

日 時:8月26日(土) 13:00~16:00 会 場:福留開発(株)ときわホール
発表Ⅰ:『50m橋台におけるひび割れ抑制』
下村 昭司((株)ワタリコンサルタント)
発表Ⅱ:『沈下橋に生じたひび割れの原因推定と対策』
田所 良太((株)第一コンサルタンツ)
発表Ⅲ:『医療用X線CTを用いたコンクリート評価検討について』
岡林 徹 (高知大学海洋コア総合研究センター)
発表Ⅳ:『コンクリート調査と補修技術について』
林 良太 ((株)デンカリノテック)

6.JCD年次発表会・第6回保有技術及び第10回業務体験報告会

日 時:11月10日(金) 会 場:新潟グランドホテル
発表Ⅰ:『50m橋台におけるひび割れ抑制』
下村 昭司((株)ワタリコンサルタント)
発表Ⅱ:『沈下橋に生じたひび割れの原因推定と対策』
田所 良太((株)第一コンサルタンツ)

活動報告

7.現場見学会

7.1 建設用3Dプリンター見学会

日 時:2024年2月9日(金) 10:00~13:00

会 場:仁淀川右岸堤防(高知県土佐市)

国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所発注

参加者:150名(診断士会20名)

主 催:福留開発株

概 要:既存堤防(石積み)を点群データにし、3Dプリンタで再現。水生生
物環境に配慮した堤防護岸を整備。3Dプリンタ実演見学



7.2 高須浄化センター水処理施設 補修・補強工事見学会

日 時:2024年2月29日(木) 13:30~16:00

会 場:高知市高須浄化センター管理等及び水処理施設

参加者:63名(発注者関係:25名、施工者:14名、IPH工法協会:5名、診断士会員:19名)

概 要:IPH工法による浄化センター地下管廊の止水、劣化因子浸入防止
工事の一連作業を見学



技術紹介(プロコンシート)

8.会員の技術紹介

【プロコンシートとは】

令和元年(2019年)の当会研修会において、アイエスティー(株)近森社長によって紹介された技術です。型枠面に張り付けたプロコンシートは、打設・締固め後に集まりやすい生コンクリートの余剰水を吸水するとともに、吸水した余剰水による保水効果にて水和反応を促進する画期的なシートです。

【採用した狙い】

RC橋脚巻立て工は、部材厚が薄いうえ、高密度配筋となることが多いことより、コンクリートの乾燥収縮による体積変化と鉄筋拘束によるひび割れが生じやすくなります。

そこで、コンクリートの表層品質を高めてひび割れ抵抗性を確保することを目的に、プロコンシートを採用しました。

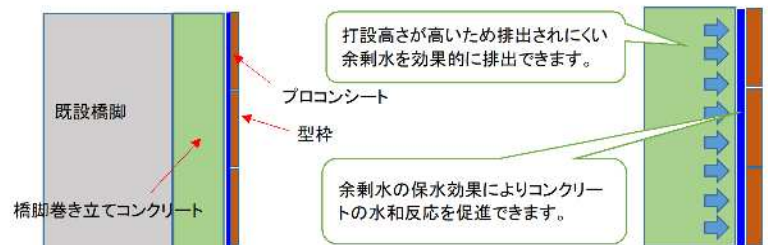
【効果】

テストハンマーによる試験の結果、呼び強度 $24\text{N}/\text{mm}^2$ に対し、 $35.4\text{N}/\text{mm}^2$ (3回平均値)の表層強度を確認してます。



【国道195号 木床第一橋】

< プロコンシートによる表層品質向上の説明図 >



【工事概要】

- ・発注者
高知県中央東土木事務所
- ・受注者
株式会社 三谷組

JCD・地区診断士会からのニュース

JCD2024年次大会（青森）に向けて

技術部会部会長 古川博人

技術部会の年一回のビッグイベントである年次大会（年次発表会の名称が今年度から変更）が、10月10日に青森市で行われます。（一社）日本コンクリート診断士会では、会員の診断技術の向上に繋げると同時に地区相互の交流を深めることを目的に、2014年に「業務体験発表会」を初めて開催し、2017年からは新たに法人会員が保有する技術を発表する場として「保有技術発表会」を設けています。

構造物の維持管理において、設計や施工、竣工後の使用形態、置かれた環境など様々な条件を考慮することが求められます。特にコンクリート構造物は、使用材料が産地によって異なることも考慮しなければならないため、同じような変状や劣化であっても、その原因を特定するためには多くの経験が必要になります。この発表会では、各地区特有のコンクリート構造物の状況や、様々な診断技術に広く触れることで個々の診断士のスキルアップにつながると共に、会員相互の交流を深める良い機会であると思います。

これまでの開催地

第1回（2014年 2月）東京 第2回（2014年11月）東京 第3回（2015年11月）石川（金沢）
第4回（2016年11月）東京 第5回（2017年11月）東海（名古屋） 第6回（2018年11月）東京
第7回（2019年11月）高知県（高知） 第8回（2021年11月）宮崎県（宮崎）
第9回（2022年11月）東海（名古屋） 第10回（2023年11月）新潟県（新潟）

1. 保有技術発表会、業務体験発表会

日時：令和6年10月10日（木） 保有技術発表10:30～12:00、業務体験発表13:00～17:00

会場：青森県青森市青森駅前 ねぶたの家「ワ・ラッセ」交流学習室

2. 交流会

日時：令和6年10月10日（木） 18:00～20:00

会場：青森市本町 ねぶたの國 「たか久 本店」

3. 現場見学会（主催：青森県コンクリート診断士会）

日時：令和6年10月11日（金） 8:00～16:00

見学場所：駒込ダム建設現場（青森市大字駒込地内）、他

参加申込み等、詳細につきましては（一社）日本コンクリート診断士会事務局からの案内をご確認ください。よろしくお願いいたします。

JCD・地区診断士会からのニュース

コンクリート構造物診断セミナー参加報告

6月27日にJCI年次大会（松山）にて開催されました、**コンクリート構造物診断セミナー**に参加して来ました。診断セミナーはコンクリート診断士に視点を当てたセミナーで今回で4回目です。

年次大会は、例年より1週間早い事も影響したのか、梅雨空の中での開催でしたが、大勢の皆様が来場され賑々しい大会となっております。

会場には多くの各地区のJCDメンバーも来られており、いろいろなお話を聞いたり、ご挨拶をさせて頂く事ができ、JCDメンバーならではの繋がりをありがたく感じる場となりました。

前回より、奈良理事（青森）の口添えで、会場入口にてJCDパンフレット配布許可を頂いており、会場受付に立たせて頂きJCDパンフレットを配布させて頂きました。

昨年の生コンセミナーとの同時開催で約400名の参加者と比較すると、今回の単独セミナーに参加された人数は、201名と少し寂しい感じではありましたが、セミナー自体は質疑も多く、盛り上がったセミナーだったと思います。

当日配布のお手伝いを頂きました、竹内理事（東海）、齋田事務局長、本当にお疲れ様でした。

松山は、明治維新を成功させて近代国家として歩みだし、日本が大きくなった時代を描いた「坂の上の雲」でも有名な街ですが、松山大会をきっかけにJCDもさらなる成長ができる事を期待して帰途につきました。

来年は東北盛岡開催との事、また多くのメンバーと顔を合わせる事が出来る事を楽しみにしております。

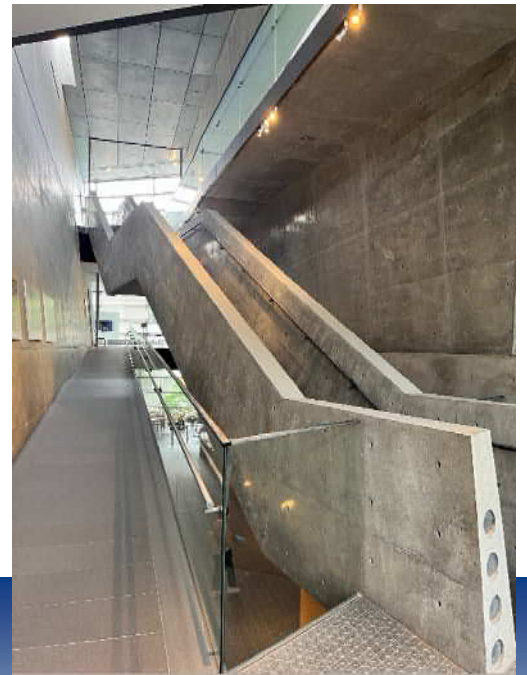
JCD広報部会



パンフレットを配布した受付



閉会の挨拶をされた原田副会長



坂の上の雲ミュージアムで見学した空中階段

JCD・地区診断士会からのニュース 保有技術の紹介

コンクリート補修用

低炭素型 高炉スラグ系ポリマーセメントモルタル

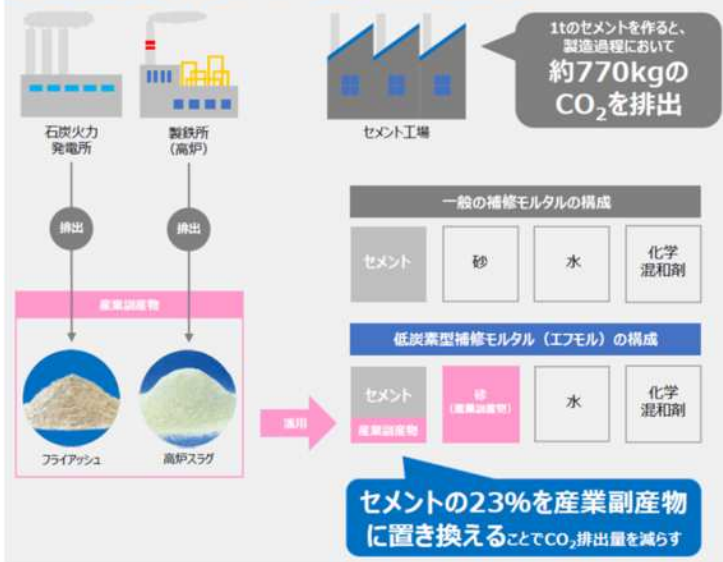
エフモル®

北海道発の高耐久性コンクリート補修材料

- 室蘭工業大学大学院、(地独)北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所、北海道電力(株)との共同研究や日鉄セメント(株)からの技術アドバイスを経て開発
- 室蘭製鉄所の副産物『高炉スラグ』と火力発電所の副産物『フライアッシュ』を使用
- 厳しい寒冷地において高耐久性が求められる農業水利施設、港湾漁港構造物、橋梁などの補修工事を中心に全国で300件以上の実績
- 農林水産省の官民連携新技術研究開発事業において最高評価の実績

CO₂排出量の削減可能

産業副産物を活用してセメントの一部を別の材料に置き換える※1



独自の製造方式

従来の補修材料の製造方式には無い『1袋計量袋詰』方式を採用した自社工場にて製造しています。この製造方式により配合のばらつきが極めて少ない製品が生産でき、現場におけるモルタルの品質が安定します。

フライアッシュの切替え可能

フライアッシュは発電設備による燃焼状態の違いや、使用している石炭の種類によって品質が変化するといわれています。1袋計量紙詰方式を活用することで、全国各地の電力会社のフライアッシュに合わせた品質の高く安定したモルタルを製造することが可能です。

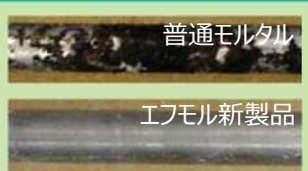
製品一覧

製品名	荷姿	特徴
エフモルO5	12.5kg/20kg/袋	汎用型断面修復材
エフモルAI	20kg/袋	亜硝酸リチウム混和型
エフモルO5-S	20kg/袋	吹付施工可能な早強型
エフモルKH	20kg/袋	軽量・早乾型
エフモルWA	20kg/袋	短繊維補強型表面被覆材
エフモル15	20kg/袋	高靱性型表面被覆材

現在開発中の製品

新しい鉄筋腐食対策

高炉スラグ微粉末をある一定量用いると細孔溶液中の溶存酸素が低減し、カソード反応(還元反応)が抑制されることで鉄筋腐食の抑制効果があることが最近の研究で明らかになってきました。南組・エフモル工業では、この知見をさらに深めて新しいコンクリート補修材を開発中です。



【腐食抑制イメージ】
乾湿繰り返し法による促進腐食試験(JCI-SC3参考)

<お問合せ> 株式会社 南組 札幌支店

札幌市豊平区月寒東2条17丁目3-75

TEL 011-595-7082 FAX 011-853-0220

[エフモルについての詳細はこちら▶](#)

